

あいじゅうれんれんぞく

愛重連連続シンポジウム②

とうきょう

きょうぎたいかい

けいしょう

東京オリパラから、アジア競技大会への継承

だれ りょう せかいきじゅん たつ きょうぎじょう めぎ
～誰もが利用しやすい、世界基準に達した競技場を目指して！～

令和
4年 1月29日 土
時間 14:00 - 16:00
参加費無料
オンライン(Zoom)開催

情報保障

PC要約筆記・手話通訳

2021年夏、東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。

新型コロナウイルスの影響を受け、無観客で行われたものの、国内外から多くの選手や関係者が訪れました。

国立競技場をはじめ、多くの会場が建て替えや大改修され、競技場だけでなく公共交通機関をはじめ、街自体のバリアフリー化が進み、大きなレガシーとなりました。これにより見えるバリアフリーを進めていくなかで、障害をもつ人への理解や啓発なども行われ、見えない部分のバリアフリーも同時に進みました。

これらの背景には、多くの障害者が計画、設計段階から参画したからこそ、実現できた成果とも言えます。

そこで東京オリパラでは、どのように障害者が参画したのか。また成果や残された課題等について、DPI日本会議事務局長の佐藤聡氏を招いてご講演いただき、その後のシンポジウムでは、基調講演を基に、2026年のアジア大会に向け、どのように活かせるかを議論したいと思います。

基調講演

「誰もが楽しめるアジア大会をめざして、バリアフリーの観点から」

講演者プロフィール

佐藤 聡氏 (さとうさとし) DPI日本会議 事務局長

1967年新潟県南魚沼市生まれ。9歳の時に事故で障害を持ち、車椅子ユーザーとなる。1991年関西学院大学卒業。2014年からDPI（障害者インターナショナル）日本会議事務局長となり、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたバリアフリー整備の運動等に取り組む。現在はDPI日本会議事務局長、日本障害フォーラム（JDF）障害者権利条約パラレルレポート特別委員会事務局長、内閣府障害者政策委員会委員、国土交通省移動等円滑化評価会議委員を務める。



シンポジウム

「様々な立場からの声、そして大切なのは障害当事者の声」

登壇者

佐藤聡氏（DPI日本会議 事務局長）

ふじた和秀氏（名古屋市会 アジア競技大会推進議員連盟 会長）

酒井雄一氏（名古屋市総務局総合調整部長）

入谷忠宏氏（愛知県重度障害者団体連絡協議会 事務局長）

ファシリテーター

磯部友彦氏（中部大学教授）

申込方法（詳細は裏面）

次のいずれか

- ① 専用メールフォーム
- ② 電話
- ③ ファックス又は郵送
- ④ Eメール

主催：愛知県重度障害者団体連絡協議会

後援：名古屋市（予定）、名古屋市社会福祉協議会（予定）

愛知県社会福祉協議会（予定）、愛知県パラ陸上競技協会

お申込みいただいた方へは、24日に当日の(zoom)URLをお送りします。

【申込方法】 ※申込み締切り1月23日(日)

次のいずれかでお申し込みください。



① 専用メールフォームにて

<https://forms.gle/qAoHoizVe46yVz4H7>

② 電話

052-851-5240

③ 下記参加申込用紙に必要事項を明記し、FAXまたは郵送

FAX：052-851-5241

〒466-0037

名古屋市昭和区恵方町2-15

愛知県重度障害者団体連絡協議会事務局

④ Eメール

aijuren@aju-cil.com

.....

氏名（必須）：

所属：

連絡先（必須）：

Eメールアドレス（必須）：

その他必要な配慮があればご記入ください

：

手話通訳が必要な方は口にチェックして下さい （必要）

PC要約筆記が必要な方は口にチェックして下さい （必要）

【お問い合わせ】

愛知県重度障害者団体連絡協議会事務局（担当：入谷、水野）

〒466-0037

名古屋市昭和区恵方町2-15

電話：052-851-5240

FAX：052-851-5241

Eメール：aijuren@aju-cil.com

ホームページ：<http://aijuren.net>